

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

(地域の現状)常盤台地域ケアプラザの各地区における共通の課題は、①地域ネットワークづくり「地域のつながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「見守り・支え合い」の推進③高齢者の健康寿命を延ばすとともに介護予防を推進する心と体の健康づくり④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」⑤身近な地域で安心して過ごせる居場所づくり⑥認知症及び在宅で介護の必要な方や家族を支える取組み⑦医療・介護関係者の連携強化と相談対応の体制づくりなどがあげられます。

(今後の方向性)令和4年度末に相鉄・東急直通線の開業が予定されています。今年度も羽沢横浜国大駅の周辺地区におけるまちづくりを支援します。具体的には、①『羽沢横浜国大駅周辺地区バリアフリー基本構想』の策定。②『羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会』によるまちづくりプランの推進。③横浜国立大学ワークショップを基軸にした取組み。以上3つの取組みについて、駅周辺エリアの自治会町内会・横浜国立大学・行政・常盤台地域ケアプラザに加えて鉄道会社や地権者、地域の学校関係者とも相談しながら同時並行的にすすめていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	○今年度よりリニューアル発足した「羽沢横国まちづくり協議会」の事務局として、協議会の運営や調整等の支援を行なっていく。 ○ケアプラザで発行しているきらしニアマップや広報紙を活用し、活動グループの支援を行っていく。
■	<input type="checkbox"/>	○地域ケアプラザに定期的集えるよう居場所づくりを目的に「サロンドウきらめき」を2回/月新規開催する。
■	<input type="checkbox"/>	○峰沢団地中心にチームオレンジモデル事業を展開し認知症の理解者を増やす。 ○学校や地域の方に加えて、来館される子育て世代にも認知症サポーター養成講座を開催し、認知症を理解できるメンバーを増やしていく。
<input type="checkbox"/>	■	○「多世代へのアプローチ事業」としてPi-Po-WAN(ピーポーワン)、Pi-Po-WANMaMa(ピーポーワンママ)を開催し多様な世代が地域づくりに参加していただくきっかけにする。
■	<input type="checkbox"/>	○「きらしニアマップ」をより広く周知できるよう工夫する。AyamuのWEB公開に向けて、団体との関わりを継続し、得た情報は区カンファレンス等で共有していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度横浜市常盤台地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	事業者選定にあたっては、ホームページなどを活用して複数事業者を提示したうえでご利用者様・ご家族様に事業者を選択していただくプロセスを徹底していきます。また、支援に際して毎月のカンファレンスや日常業務での区役所とのやり取りを通じてきめ細かく情報共有を行い、支援方針についても緊密に連携しながら実務にあたります。利用者アンケートを通じてご意見を伺い、業務改善につなげます。	前年度はコンプライアンス関連でファックス誤送信など事故・苦情が発生しており、今後同様の事故・苦情案件を繰り返さないように対応していきます。過去に起きた事例については教訓を生かして、広報誌のイラスト及び記事内容チェック、PCセキュリティのウイルス対策強化、研修等による苦情対応の強化等について引き続き具体的に取り組んでまいります。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。	居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。 地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。
利用料金・実費負担	自己負担なし(全額保険給付)	自己負担なし(全額保険給付)
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 保健師等 2名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤専従)
契約者数		

令和4年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」
収支予算書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,225,416		16,225,416		16,225,416	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	16,225,416	0	16,225,416	0	16,225,416	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,159,637	0	11,159,637	0	11,159,637	
本俸	7,200,000		7,200,000		7,200,000	
社会保険料	930,000		930,000		930,000	
手当計	2,874,637		2,874,637		2,874,637	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	99,000		99,000		99,000	
その他	6,000		6,000		6,000	
事務費	1,347,000	0	1,347,000	0	1,347,000	
旅費	8,000		8,000		8,000	
消耗品費	330,000		330,000		330,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	65,000		65,000		65,000	
通信費	270,000		270,000		270,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	
振込手数料	71,000		71,000		71,000	
リース料	0		0		0	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	588,000		588,000		588,000	
事業費	737,008	0	737,008	0	737,008	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	695,008		695,008		695,008	
その他	0		0		0	
管理費	1,615,000	0	1,615,000	0	1,615,000	
光熱水費	695,000		695,000		695,000	
清掃費	340,000		340,000		340,000	
機械警備費	84,000		84,000		84,000	
設備保全費	406,000	0	406,000	0	406,000	
空調衛生設備保守	147,000		147,000		147,000	
消防設備保守	28,000		28,000		28,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	18,000		18,000		18,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	213,000		213,000		213,000	
共益費	0		0		0	
その他	90,000		90,000		90,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	892,771	0	892,771	0	892,771	
事業所税	0		0		0	
消費税	892,771		892,771		892,771	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	16,225,416	0	16,225,416	0	16,225,416	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	695,008	0	695,008	0	695,008
自主事業 収支	△ 695,008	0	△ 695,008	0	△ 695,008

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,819,920		27,819,920		27,819,920	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,793,034		5,793,034		5,793,034	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	33,766,954	0	33,766,954	0	33,766,954	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,084,991	0	30,084,991	0	30,084,991	
本俸	16,573,745		16,573,745		16,573,745	
社会保険料	3,843,200		3,843,200		3,843,200	
手当計	9,098,046		9,098,046		9,098,046	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	510,000		510,000		510,000	
その他	30,000		30,000		30,000	
事務費	1,900,000	0	1,900,000	0	1,900,000	
旅費	25,000		25,000		25,000	
消耗品費	110,000		110,000		110,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	80,000		80,000		80,000	
通信費	425,000		425,000		425,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	67,000		67,000		67,000	
リース料	0		0		0	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	1,163,000		1,163,000		1,163,000	
事業費	1,245,963	0	1,245,963	0	1,245,963	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	146,963		146,963		146,963	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他	0		0		0	
管理費	410,000	0	410,000	0	410,000	
光熱水費	193,000		193,000		193,000	
清掃費	90,000		90,000		90,000	
機械警備費	23,000		23,000		23,000	
設備保全費	54,000	0	54,000	0	54,000	
空調衛生設備保守	39,000		39,000		39,000	
消防設備保守	10,000		10,000		10,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	50,000		50,000		50,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	33,766,954	0	33,766,954	0	33,766,954	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	615,963	0	615,963	0	615,963	
自主事業 収支	△ 615,963	0	△ 615,963	0	△ 615,963	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

令和4年4月1日~令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,368		3,368	21,305		21,305			0			0
	その他	0	0	0	340	0	340	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0		0	0		0			0			0
	認定調査委託料	0		0	340		340			0			0
	借入金利息補助	0		0	0		0			0			0
	借入金償還補助	0		0	0		0			0			0
				0			0			0			0
	その他	0		0	0		0			0			0
収入合計(A)		3,368	0	3,368	21,645	0	21,645	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	1,500		1,500	18,375		18,375			0			0
	事務費	120		120	1,148		1,148			0			0
	事業費	0		0	0		0			0			0
	管理費	193		193	912		912			0			0
	その他	1,000		1,000	10	0	10	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0			0			0
	消費税	0		0	10		10			0			0
	介護予防プラン委託料	0		0	0		0			0			0
	支払利息	0		0	0		0			0			0
	拠点区分間繰入金	1,000		1,000	0		0			0			0
	借入金償還支出	0		0	0		0			0			0
その他	0		0	0		0			0			0	
支出合計(B)		2,813	0	2,813	20,445	0	20,445	0	0	0	0	0	0
収支 (A) - (B)		555	0	555	1,200	0	1,200	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ときわの森子育て広場	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場、親子同士の交流の場。ケアプラザに来てもらう事で子育てに関する情報交換ができる事や相談の場である事などを知ってもらう。	3:養育者及び乳幼児		4月手形アート作りと認知症の理解「ママが活躍、地域の見守り」5月音とリズム遊びとハーバリウム作り6月音楽に合わせて楽しく踊ろう8月わくわくお話し会と夏祭り9月音楽に合わせて楽しく踊ろう10月ハロウィンパーティー11月バラバルーンで遊ぼうとお医者様のお話12月わくわくお話し会とおやつ試食会2月ミニコンサート3月ヒーローに変身しちゃおう！と子育てサポートシステム説明会。		
2	ときわの森らくらくストレッチ体操教室	平成22年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に高齢者を中心とした体操教室。健康維持、転倒予防を目的とする。	1:高齢者		無理なく、安全に椅子に座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作を行う体操教室。4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、令和5年1月、2月、3月に開催。		
3	ときわの森美と健康体操	平成31年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しい姿勢を保つためのストレッチや心身ともに健康になるための体操を行う。健康な日常生活を送れることを目的とする。	5:地域		体幹トレーニング・筋力アップストレッチ・骨盤調整・姿勢分析などを少しずつ取り入れて、新しい講師により美しい姿勢を保つ事を意識しながら行う。原則毎月第1・3水曜日開催。		
4	ときわの森和菓子&パン教室	平成24年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	比較的若い世代の方々に参加してもらう事を目的として、イベントなどで活躍できる調理ボランティアの発掘につなげていく。	5:地域		6月和菓子(水無月)、12月シューレンを製作予定。		
5	ときわの森音と音楽で遊ぼう	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持っているお子さんと親同士の放課後支援。音楽を通じて交流を図る。	2:障害児・者		音楽療法のできる講師を招いて、発達の統合調整を行う。原則毎月第1水曜日開催予定(5月は休み)。		
6	園芸ボランティア活動	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスの共通部分である施設内及び周辺の整備をしていく事で、きれいな環境維持とボランティアの活動の場、発掘の場につながっていく。	5:地域		2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となって季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植えていく。原則毎月第3水曜日に開催。		
7	ときわの森おもちゃ病院	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティアのおもちゃドクターの協力により壊れたおもちゃを修理して、再び使えるようになることで「物を大切に作る心」を伝えていく。	5:地域		壊れたおもちゃを持ってきてもらい、地域のボランティアに修理をしてもらう。原則毎月第2土曜日開催。		
8	幼稚園ママに幼稚園のこと聞いちゃおう!	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	入園前の子どもの保護者対象に幼稚園に関する情報を現在通わせている母親から情報をもらい、入園の目安にしてもらう。	3:養育者及び乳幼児		子育て支援拠点こっころの協力を得て、幼稚園のホームページや説明会ではわからない事を経験者の生の声を直接聞いて入園時の参考にしていく。6月開催する。		
9	子どもクッキング	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子ども同士一緒に調理することで、調理する事の楽しさを感じ取ってもらう。コミュニティハウスの寺子屋事業の一環とすることで、多くの小学生参加者が見込まれる。	4:子ども・青少年		小学3年～6年生を対象に短時間で簡単に調理できるものを体験して交流を図る。		
10	ときわの森子育て広場サマーパーティー	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士の交流の場。遊びながら情報交換などが楽しくできる場の提供を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		ケアプラザの外庭で水遊びとして、噴水シャワー、魚釣り・シャボン玉・水てっぽう・バケツに水をはっての遊びなどを予定している。		
11	利用者発表会&作品展	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスとの共催でイベントを開催することで、地域住民とのつながりを深める。	5:地域		利用団体の発表会と作品展をケアプラザとコミュニティハウスと共催で10月に開催予定。		
12	ときわの森親子で楽しむクリスマス会	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士で音楽を通じたクリスマス会を開催し交流を図る。	3:養育者及び乳幼児		クリスマスにちなんだ内容を企画して楽しんでもらう。ボランティアがクリスマスの飾り付けをし、ケアプラザ職員がサンタクロースに扮して、手作りのプレゼントを子どもに渡す。		
13	第11回桜バザー	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスの共同開催。地域住民との交流を目的としたイベントの開催。	5:地域		地域住民の協力で不用品を集めてバザーを開催する令和5年3月に開催予定。		
14	ほっとフレンズ2022夏	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者		保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して夏休みに、障がいを持っている子ども達が親子と一緒に楽しむ。7月にポッチャ大会を予定している。		
15	ほっとフレンズ2022春	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者		保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して春休みに、障がいを持っている子ども達が親子と一緒に楽しむ。3月に開催を予定している。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	ほどがや区民まつりの参加	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域		福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。10月に開催予定。		
17	無料食品配布会	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスの影響下でも可能な地域支援として、食品ロス兼ねて地域住民向けに食支援を行う。	5:地域		フードバンクかながわなどから提供を受けて、賞味期限間近の食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々へ無料で配布する。地域活動支援「陶」による手作り革製品や陶器などの販売会も同時に行う4月・6月・8月・10月・12月・2月に開催する。		
18	ときわ図書	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの情報ラウンジに図書コーナーを設けることで、読書を気軽に楽しんでいただく事ができ、事業に参加していない方でもケアプラザを知ってもらえるきっかけとなる。	5:地域		貸出し図書を利用し、読み終わった読書感想を指定の用紙に書いていただいて、次に借りる方の参考にしてみよう。		
19	貸室お掃除大作戦	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体登録をされている利用者とケアプラザ職員と一緒に貸室の掃除をしてもらう事で交流を図る。	5:地域		各団体より1・2名募り利用している貸室の掃除をしていただく。		
20	歌声サロン	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中高年を対象に開催。地域住民同士の交流を図りながら、歌う事で心身の健康維持にもつなげていく。	5:地域		感染予防を図りながら、昔なつかしい・思い出の歌をピアノの伴奏で歌う。原則毎月第1火曜日に開催。		
21	ときわの森七タコンサート	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣の大学の吹奏学部がケアプラザで演奏会を開くことで地域と音楽を通じて交流を図る。	5:地域		横浜国立大学吹奏楽団の演奏を地域住民に披露する。小編成の生演奏とライブ映像を楽しむ ・7月9日に開催予定。		
22	ときわカフェ+オレンジ	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族支援に向けた取り組みで「認知症カフェ」とする。カフェに参加して楽しんでもらい、専門職が交わり交流しご本人やご家族の悩みなども聞くことができるなど、地域で支え合う仕組み作りを目指す。	5:地域		認知症当事者の方もそうでない方も、誰もが参加でき集うカフェを開催する。ボランティアによる飲み物を提供しゆっくりと和む時間と交流できる場所を提供する。ときわカフェと共に偶数月、第4金曜日に実施。		
23	終活講座	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	相続・介護・遺言・成年後見をテーマにして講座を行い地域住民の権利擁護の意識を高めることで自己実現が図れる事を目的とする。	5:地域		コロナ禍の状況を見ながら秋に成年後見つばさ事務所の協力を得て担当地区とそこで活動するケアマネジャー対象に「地域で考える介護と相続」セミナー実施予定。		
24	ときわ・介護者のつどい「ゆうづる」	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の方を介護されている家族を対象に、定期的な意見交換などの交流やリフレッシュの場を設けることにより介護の抱え込みや介護負担の軽減が図れることを目的とする。	5:地域		懇談会は奇数月第4木曜日開催。介護者同士の意見交換を行ってリフレッシュしていただき、介護負担軽減や抱え込み防止を図れるようにする。参加者希望で勉強会、施設見学を行う。		
25	出張講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自治会主催の定例会などにエンディングノートの周知や健康講座など行い地域住民の方が自分の人生を自分らしく生きる為に元気に過ごしていただく提案をすること目的とする。	5:地域		エリアごとに自治会に出向いて「エンディングノート」「健康」「介護保険の説明」などの自治会希望のテーマで講座を開催する。		
26	ときめイト連絡会	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解してもらい、認知症の人や家族を見守ることが出来る方を増やす事で認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして携わってもらう事を目的とする。	5:地域		認知症サポーター養成講座を開催するに当たって、キャラバンメイトとして連絡会に参加してもらい情報交換を行う。チームオレンジの事業に協力してもらう。		
27	認知症サポーター養成講座	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解して認知症の人や家族を温かく見守ることができる力を身につけてもらう。家族や周りの人が認知症になっても安心して暮らせる地域を作っていくことを目標とする。	5:地域		可能であればキャラバンメイトさんに参加してもらい認知症サポーター養成講座を行う。地域の自治会、小学校、中学校の依頼により開催する。		
28	ピーポーワン	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、愛犬のお散歩のとき見守りボランティアをしていただく。	5:地域		ボランティア登録者に毎日お散歩のとき、利用していただく散歩バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただくシステム。登録会はコロナ感染状況を見て青空の下公園等で開催する。		
29	ピーポーワン・ママ	令和2年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、子育て中のママにも地域の見守りボランティアに参加していただく。	5:地域		ボランティア登録者にお出かけのときに利用していただく外出バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただく。また、当事業の広報もかねてケアプラザイベント開催時など周知し参加していただく。		
30	チームオレンジ	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	認知症の人が役割を持って参加しやすい環境や見守りサポート体制を作りさらには地域に広く認知症に関する理解を広げ認知症の人が自分らしく過ごせる地域作りを進める取り組みを行う。	5:地域		「認知症になって過ごせる温かく安心できる地域作り」をテーマに高齢化率の高い峰沢団地とその周辺の住民対象にリーダーのステップアップ研修やオレンジカフェの開催、多世代交流の事業を一年間を通じて実施する。		
31	ときわ体操をつくる	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防を目的としたオリジナル体操をつくり、多世代に対して普及・啓発を行う。	7:その他		かながわ健康財団の講師とともに、介護予防を目的とした常盤台地域ケアプラザのオリジナル体操を完成させる。また、DVDを作成して、ケアプラザや地域会場での普及・啓発を行う。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	きらきら長寿ときめき塾	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施できることを目標とする。	1:高齢者		介護予防のための運動、口腔、栄養の講座を開催し、生活習慣改善に自ら取り組めるよう普及啓発を行う。全4回。11月～12月実施。		
33	ゆるのび運動	令和2年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	健康の維持・増進のために効果的な運動をグループで継続することで、高齢者が張り合いを持ちながら運動を続けられることを目標とする。また、地域の受け皿としての機能も持たせる。	1:高齢者		グループメンバーが楽しみながら運動を実施できるよう支援を行う。毎月第2、第4木曜日実施。		
34	きらきら長寿ときめき塾inたまり場	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施できることを目標とする。	1:高齢者		生活習慣改善や介護予防の知識を得て、生活の中で実践できることを目的とする。また、自分の健康に関心を持つことで、地域での健康づくりに取り組むきっかけとする。ケアプラザに来ることが難しい地域をターゲットに5月～7月の第4曜日に開催(全3回)。		
35	ノルディックウォーキングin新横浜公園	平成23年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者がいつまでも元気に楽しく歩けるよう、ノルディックウォーキングを通して継続的に運動に取り組むための支援を行う。また、隣接する神奈川区との交流を図る。	1:高齢者		講師の指導のもと、新横浜公園周辺を楽しみながらウォーキングする。また、神奈川区若竹苑と菅田地域ケアプラザのグループとの交流の場とする。雨天の場合は屋根のあるエリアで実施。		
36	Let's フラ♪	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	フラを通してロコモ予防、認知症予防に取り組む機会とする。また健康づくりに取り組むきっかけとする。	1:高齢者		講師に学びながら、フラを行う。グループの自主化を目指して支援する。R.4年4月20日～R.5年3月15日、第3水曜日開催予定→講師の都合により5月18日から開始。		
37	シャキトレ!	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ロコモ予防の運動を学び、自宅でも健康づくりに取り組むことができる。	1:高齢者		生活に取り入れられるロコモ予防の運動を講師から学ぶ。グループの自主化を目指して支援を行う。R.4年4月7日～R.5年3月2日、第1木曜日(5/5、11/3を除く)開催。		
38	男性かがやき塾～コーヒー編～	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の社会参加、居場所づくりをねらいとする。地域向けやイベント等担い手として活躍の場を広げていくような投げかけを行い、発掘支援していく。	1:高齢者		シニア男性、またはご夫婦を対象に月1回開催。コーヒーの淹れ方や選び方、その他実践方法を学び技術を身につける。参加が主体的に活動を行えるように支援し、自主化を目指す。毎月第2水曜日15時～。		
39	喫茶ときわだい青空体操プラス	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で自宅に引きこもりがちな高齢者向けに外出の機会を作り、屋外で介護予防の啓発、意識づけを行う。また活躍の場が減少したボランティアが活躍できる機会づくり。	1:高齢者		保健師より介護予防体操の紹介を行い、シニア男性ボランティア男性かがやき塾で身に着けた技術を活かし、ドリッブコーヒーを地域住民に提供する。感染症対策のため、屋外で開催する。		
40	ときわ体操をつくる	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防を目的としたオリジナル体操をつくり、次年度以降、多世代に対して普及・啓発を行う。	7:その他		かながわ健康財団の講師とともに、介護予防を目的とした常盤台地域ケアプラザのオリジナル体操をつくる。また、DVDを作成して、次年度以降はケアプラザや地域会場での普及・啓発を行う。		
41	スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域で活動しているスクエアステップグループのリーダーを対象として、スキルの向上とグループ活動の活性化及び継続支援を目的とする。	1:高齢者		講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割をご指導いただく。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。		
42	地域活動グループリーダー連絡会	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	きらり☆シニア塾や地域のサロン等で活躍されている、ボランティアリーダーに対するフォローアップ。	1:高齢者		運動系のグループにはPTより講義や実践を、サロンなどのリーダーにはSTよりコミュニケーションに関する内容を講義していただき、グループの活性化を図る。9月～11月頃開催。		
43	楽しくコグニサイズ	令和2年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のサロンや活動グループ支援、介護予防として楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。また、地域活動の担い手候補の発掘も目的とする。	1:高齢者		かながわ健康財団のコグニサイズ講師派遣事業を活用し、地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行う。令和5年1月～2月開催。		
44	尿漏れ講座(仮称)	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	尿漏れについて学び、予防や改善の方法を知ること、積極的に外出や活動ができるようになることを目的とする。日常生活の活動性を上げ、ロコモ予防につなげる。	1:高齢者		排泄の専門看護師より尿漏れの機序等を学び、かながわ健康財団の講師より尿漏れ予防・改善のための運動等の指導を受ける。12/8開催。		
45	サロン ドゥ きらめき	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢者が人と交流し、閉じこもりによるADL低下や認知症を予防しながら通うことができ、生きがいとなる居場所づくりを目的とする。	1:高齢者		手芸や脳トレ、体操、消費者被害防止など、参加者と相談しながら内容を決めて包括職員と一緒にやる。年に数回、イベント的な要素も盛り込む。6/14～第2、第4火曜日開催。		